

# 【ふれあい土木展 2025 参加報告】

## 1. 概要

日 時：令和 7 年 11 月 14 日(金) 10 時～16 時  
令和 7 年 11 月 15 日(土) 10 時～16 時 (資機材撤去：16 時以降)  
※資機材搬入・準備は 11 月 13 日(木) 9 時以降

場 所：近畿地方整備局 近畿技術事務所 (大阪府枚方市山田池北町 11-1)

内 容：液状化模型実験による現象観察  
補強土工模型実験によるゲーム的体験(参加景品として駄菓子配布)  
ミニボーリングマシンの展示および遠隔操作体験  
協会誌(GEO)、冊子および三色ペン(協会ネーム入り)の配布

参加者：小宮理事長、大久保副理事長、岩瀬技術委員長、技術委員 9 名、  
ハイッテク株式会社 3 名、関西地盤環境研究センター 3 名(計 18 名)

## 2. ふれあい土木展 開催報告

ふれあい土木展は、国土交通省近畿地方整備局近畿事務所の主催により、土木技術に  
関わる関係者が連携・協働し、土木技術者や技能者との交流や体験の機会を提供するイ  
ベントです。本展の目的は、次代を担う世代や一般の方々に土木技術の魅力を伝え、理  
解を深めていただくことにあります。

## 3. 来場者と開催状況

対象は近隣住民(子ども含む)、小学校児童、学生、建設業界関係者、自治体職員、  
近畿地方整備局職員など幅広い層です。開催期間中は天候に恵まれ、来場者数は速報値  
で合計 2,634 名(金曜 644 名、土曜 1,990 名 ※マスコミ、小学生ツアー、枚方市長・  
随行者含む)となりました。

## 4. 展示内容

展示は以下の 9 分野にわたり、多様な取り組みが紹介されました。

- ①ICT 活用、②DX の取り組み、③防災、④道路、⑤河川、⑥施工、⑦素材・材料、  
⑧災害対策車両・乗り物、⑨TEC-machine カード配布

## 5. (一社)関西地質調査業協会の取り組み

当協会は「⑦素材・材料」に関する展示として、

『体験しよう！土のチカラ 見てみよう！液状化のひみつ さわってみよう！ミニボー  
リングマシン』をテーマに出展しました。

今年で 3 回目の参加ですが、今回は初めて野外展示を実施しました。

## 6. ブースの反響

感覚的には、1 日目に約 100 名、2 日目に約 200 名が来場しました。初展示のミニボ  
ーリングマシンは、子どもたちにとってゲーム感覚で非常に好評でした。一方、大人は  
液状化実験に強い関心を示し、液状化による埋設物の模型の浮上やミニカーの沈下に驚  
きの声が上がりました。子どもには補強土壁の倒壊シーンや景品(うまい棒)が人気

で、大人は補強材の効果に感嘆されていました。景品のうまい棒は2日間で250本がすべて配布され、途中から三色ペンを提供しました。

## 7. 今後の取り組み

次回に向けて、来場者アンケートを実施し、展示内容や運営方法の改善に反映していくたいと考えています。



1日目の参加委員他



2日目の参加委員他



液状化模型実験状況



補強土壁模型実験状況



ミニボーリングマシンの遠隔操作状況



ヘリコプター（きんき号）飛行状況